

勝如尼 尼僧。加賀一向一揆を陰で指導した。

しょうじょう

義教鑑引將軍1428 = 生。本願寺5代法主大谷紳如の三男周覚玄真の三女。

・ ・ ・ ・ ・ 1437 = 9歳 :

嘉吉の乱 ・ ・ 1441 = 13歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1446 = 18歳 :

いここで、加賀本泉寺を開いた宣祐如乗と結婚。

古河公方始 ・ 1455 = 27歳 :

道灌江戸城始1457 = 29歳 : 如乗が尽力してきた甥の蓮如の8代法主就任が実現、

・ ・ ・ ・ ・ 1460 = 32歳 :

\*如乗が死去したため、勝如は北陸の浄土真宗の寺や坊をきりもりするようになる。

蓮如の次男蓮乗が法主となったが、幼童であったため、寺務や政略、門徒への対応から教線拡張まで勝如が携わり、独得の説法で北陸に浄土真宗を広めることに力を添えた。

・ ・ ・ ・ ・ 1464 = 36歳 :

応仁の乱始 ・ 1467 = 39歳 :

義政隠居後見1473 = 45歳 :

応仁の乱終 ・ 1477 = 49歳 :

兼良+一休没 1481 = 53歳 : \*国守富樫政親が高田専修寺派と本願寺派討滅に乗出すと、門徒側は苛酷な年貢取立てで百姓庶民を圧迫した政親と対決。

義政政権放棄1482 = 54歳 :

勝如は4つの寺坊を駆けまわり、政親の軍勢を追い返し、越中国福光城主石黒光義を自刃させ、医王山惣海寺を落した。さらに北条義尚の名で激を飛ばした政親は、加賀国野々市城に立てこもったが、

加賀一揆支配1488 = 60歳 : \*軍勢1万余人、門徒側は15万余で城を包囲。この大軍を集めるのに、勝如は背後にあって指導的役割を果たし、合戦ののち落城させ、政親を自刃させた。

足利義政没 ・ 1490 = 62歳 :

大内義興入京1491 = 63歳 :

早雲小田原城1495 = 67歳 : 没した。